

# 報告書抄録

ふりがな	こうまえいせき							
書名	弘前遺跡 I							
シリーズ名	ほ場整備関係(水質保全対策)遺跡発掘調査報告書							
シリーズ番号	35-1							
編著者名	中川治美							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課				財団法人滋賀県文化財保護協会			
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号				滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号			
発行年月	平成20年(2008年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
こうまえいせき 弘前遺跡	しがけんもりやまし 滋賀県守山市 あかのいちよう 赤野井町・ やしまちよう 矢島町	207	090	35度04分50秒	135度58分06秒	8,944㎡	2004 } 2006	県営農業農村整備事業(水質保全対策事業)
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
弘前遺跡	墓	弥生時代中期	方形周溝墓	弥生土器・石錐・石包丁・石槍				
	集落	古墳時代前期	溝・土坑	土師器				
	集落・生産	古墳時代中期末	掘立柱建物・井戸・溝	土師器・須恵器・石釧・双孔円盤・玉砥石	南北方位地割			
	集落・生産	古墳時代後期末	古墳時代後期末	土師器・製塩土器・玉材料	東西棟の大型掘立柱建物・井戸枠に転用された舟・正南北方位地割			
	集落・生産	飛鳥時代～奈良時代前半	掘立柱建物・井戸・溝	土師器・須恵器				
	集落・生産	奈良時代後半～鎌倉時代	掘立柱建物・溝	土師器・須恵器・灰釉陶器・黒色土器	条里畦畔遺構			
要約	<p>弘前遺跡は滋賀県守山市北西部の野洲川左岸沖積地に立地する。琵琶湖岸から約1km東方に位置し、非常に低い地勢にある。</p> <p>今回の調査では、琵琶湖側から現集落側に向かう起伏に富んだ地形が判明したと共に、その上に立地する弘前遺跡が、弥生時代中期初頭から近代を経て今日まで連続と続く複合遺跡であることが明らかになった。</p> <p>弥生時代中期には方形周溝墓がつくられ、古墳時代前期には祭祀的性格の推定される土坑や溝がみられる。古墳時代中期末には南北方位を主軸とした土地開発が行われ、掘立柱建物や溝、畦畔が検出された。同後期末にはより高い規格性を持って広範囲に展開される。この時期には溝で区画された大型建物や丸木舟を転用した井戸などが検出され、この地域の中心的な役割を果たしたと推定される。飛鳥時代～奈良時代前半には遺構が希薄となるが、奈良時代後半には条里の施行が認められ、上部構造の残る畦畔遺構や掘立柱建物、素掘り溝群を検出した。その後条里方位の土地開発が広範囲に進められ、現在の水田景観に継承されている。</p>							